

広報

おおく

2020

7

No.186

大洲市花木 満開

NEXT きらめき[★]

木元 マリア さん (大洲高等学校カヌー部3年)

令和元年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技

カナディアンシングル 500m 4位入賞

文部科学大臣杯 令和元年度日本カヌースプリントジュニア選手権大会

200m 3位入賞 500m 3位入賞



大洲高等学校3年(受賞時2年)の木元マリアさんは、令和元年8月に行われた2つのカヌー全国大会において、上記の成績を収めました。全国大会の印象と今後の抱負について聞くと、「自分の実力を知るために臨んだ大会だったけど、自分が思った以上の成績で入賞できて嬉しかったです。また、全国大会で勝つための筋力強化が必要だと感じ、普段の食事管理にも注意するようになりました。そして、全国のライバルに勝つため、練習も含めて日々の積み重ねをして、入賞を目指し頑張ります」と語っていました。

7月の納税など 納期限は7月31日(金)です。

税 別	7月	8月	9月	10月
市 県 民 税		2期		3期
固 定 資 産 税	2期			
軽 自 動 車 税				
国 民 健 康 保 険 税	1期	2期	3期	4期

市税などの納付は、便利で安心な「口座振替」を。納期限内であればコンビニでも納付することができます。

現在の^{大洲}

	人の動き(先月比)	交通事故(昨年同期)
人 口	42,307人 (- 28)	件 数 18件(26件)
男	20,245人 (- 2)	死 者 0人(0人)
女	22,062人 (- 26)	負 傷 者 22人(29人)
世帯数	19,868世帯(+ 3)	

(2020年5月末現在)

CONTENTS 目次

2ページ	NEXTきらめき・今月の表紙
3ページ	(特集)平成30年7月豪雨災害から2年 ～復旧・復興と災害への備え～
8ページ～	【新型コロナに関するお知らせ】 ～新しい生活様式～
9ページ～	～特別定額給付金～
10ページ～	～テイクアウトデリバリー情報～
13ページ～	～支援事業～など
16ページ	おおずニュース
17ページ～	シリーズ
18ページ～	おしらせピックアップ
23ページ～	情報ひろば
24ページ～	集まれ0級若モン・図書館
26ページ～	保健センター・各種相談ガイド
28ページ	がんばるひと (大洲かるた会)

今月の表紙



5月5日(火)こどもの日、^{とみすやま}富士山公園のツツジが満開となりました。緊急事態宣言で外出自粛要請の中、大洲市の花木は、見事に咲き誇りました。

平成30年7月豪雨災害から2年

～復旧・復興と災害への備え～

今年も入梅の季節を迎え、平成30年7月7日、西日本を中心に広範囲にわたる記録的豪雨により、大規模な災害が発生してから2年が経過いたしました。

この災害では、本市においても、関連死を含め5名の尊い命が犠牲となり、約4千棟に及ぶ家屋や事業所などが浸水し、過去に経験のない甚大な被害をもたらしました。

どんなに月日が流れても、最愛の肉親を突然失われたご遺族の深い悲しみは、癒えることはありません。犠牲となられた方々に対し、哀悼の誠を捧げ、ご遺族の皆様から心からお悔やみを申し上げます。

そして、この2年間、市民の皆様の大変なご努力のお陰で、様々な復旧事業が進められ、まちの賑わいが戻りつつあります。ご尽力を賜りました全ての皆様に、深甚なる感謝と御礼を申し上げます。

大洲市では、早期の復旧復興を成し遂げ、二度とこのような被害を起さない、災害に強い大洲市を創ることを第一に取り組みを進

めてまいりました。

肱川流域の治水対策においては、肱川緊急治水対策による築堤や堤防の嵩上げ工事が進められています。

また、道路や河川、農業基盤の復旧工事を計画的に実施する中で、商工業や農林水産業においても、国や愛媛県をはじめとした支援施策を活用することで、多くの事業者、生産者の皆様が復旧を成し遂げてこられました。

一方で、昨年10月の台風19号では、中部・関東甲信越・北陸・東北地方の広範囲にわたって河川の氾濫や堤防決壊による甚大な浸水被害が報告されるなど、相次ぐ自然災害が全国各地で発生しております。

このように頻発する自然災害に備えるために、私たちは、災害の教訓を生かして、一層の防災・減災対策を講じていかなければなりません。

現在、市内の自主防災組織では、地区防災計画の策定や災害避難カートの取り組みなどを進めていた

だいております。災害発生時、逃げ遅れて命を落とさないようにするためには、自分の身は自分で、自分たちの地域は自分たちで守るという「自助」と「共助」が重要となります。特に「ご近所」の協力が不可欠になります。

どうか万一の災害に備えて、避難場所や避難ルートなどを把握し、各家庭においても、食料や飲料水の備蓄を行うとともに、平時から地域の皆様同士で災害への備えについて話し合いを行い、協力体制を築いていただきますようお願い申し上げます。

大洲市では、早期の復旧・復興を成し遂げ、災害に強く安全で安心して暮らすことができるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

引き続き、市民の皆様並びに関係各位のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

大洲市長 二宮 隆久

平成30年7月豪雨災害に係る献花式について

豪雨災害から2年を迎えるに当たり、災害で亡くなられた方々に哀悼の意を表するため献花式を執り行います。

市民の皆様も自由に参加できます。ご参列の際は、マスクの着用など新型コロナウイルス感染症対策をお願いいたします。

なお、献花用の花は会場に用意いたします。ご供物、ご供花などはご遠慮ください。

【献花式】

日時 令和2年7月7日(火)

午前9時30分～

場所 大洲市役所2階大ホール

※なお、午後3時までは自由献花を受け付けます。

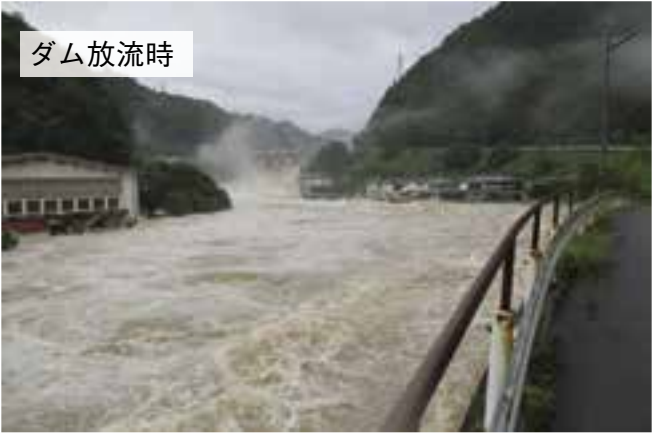
※当日午前9時30分に防災行政無線によりサイレンでお知らせしますので、ご家庭や職場などで黙とうをお願いします。

【問い合わせ先】

総務課行政係 ☎ 1724

鹿野川ダム（肱川中学校）

鹿野川ダムからの最大約3,800m³/sの放流により、ダム直下の肱川中学校では特別教室棟や屋内運動場が浸水（床上140cm）被害を受けました。現在、敷地を2mかさ上げし、改築整備を進めており、令和4年度中に完成予定です。



ダム放流時



現在

清流の里 ひじかわ

物産販売所（写真）をはじめ、大きな被害を受けましたが、1か月後の平成30年8月8日から営業が再開されました。施設からの撤退を余儀なくされた事業者もありますが、様々な苦難を乗り越えながら元の姿に戻りつつあります。



発災後



現在

肱川 国道197号

宇和川地区ではルート規制が続いていましたが、復旧工事を終え令和2年3月4日から供用開始されています。災害直後113箇所あった道路の通行止めなどの規制は、現在も山間部を中心に10箇所の通行制限が残っています。



発災後



現在

大川地区（大成橋）

洪水により流失した市道橋「大成橋」は、愛媛県の協力により約200m下流の位置に車道幅員5m、歩道幅員2m、橋長約200mとなる新橋が建設中で、早い時期の開通が待ち望まれています。

発災後



現在



東大洲（ふれ愛パーク）

市内の6箇所の公園で被害があり、市民の憩いの場として利用されていた「ふれ愛パーク」も被災し、利用が制限されていましたが、平成31年4月26日から開放されています。

発災後



現在



大洲球場

八幡浜・大洲地区運動公園は豪雨による被害はありませんでしたが、野球場や陸上競技場は、発災直後から災害廃棄物の仮置場として使用しました。平成30年11月まで仮置場として使用した後、復旧工事を終え現在は、芝生の養生期間中ですが、今年の秋ごろまでには利用が再開される見込みです。

H30.7.15~



現在



防災対策の強化

平成30年7月豪雨をきっかけに、3つの防災対策の強化を図っています。

①情報伝達手段の強化

平成30年7月豪雨では、防災行政無線放送が聞こえなかった、聞こえづらい、流れないという課題がありました。そこで、防災行政無線放送をスマートフォンで聞くことのできるアプリの導入や令和3年度までに肱川、河辺地域の防災行政無線のデジタル化による整備を進めていきます。

②災害・避難カード作成事業の推進

三善地区自主防災組織の取り組みを参考とし、命を守るために必要な情報を記入した災害・避難カードを作成、活用する事業を各地域で実施し、地域防災力の向上を図っていきます。

③消防力の強化

これまで12艇配備していた救助用ボートをさらに9艇追加し、各地域に合計21艇を順次配備することとしています。大洲地区広域消防事務組合において水上バイク1台、オフロードバイク2台を導入他、チェーンソー61台（消防団）、水槽付きポンプ自動車（消防署）

など、災害時に迅速に対応できるような消防力の強化を図っています。



激特事業等

治水対策の推進

国土交通省と愛媛県により、平成30年からおおむね5年間で短期集中的に築堤や暫定堤防の嵩上げ（かさ上げ）工事などが実施されています。

激特事業完了後には平成30年7月豪雨の洪水が越水しない堤防になります。



【菅田地区での築堤工事の様子】

大洲市地域支え合いセンターの活動

被災されたみなさんの生活の復旧、復興をお手伝いするボランティアセンターに続き生活再建を総合的に支援していくため、平成30年10月1日、総合福祉センター内に開所しました。

これまでに、仮設住宅などへの巡回訪問などを通じた孤立防止のための見守りや声かけのほか、総合相談窓口として生活再建に関する情報を提供したり、関係機関にお困り事をつないだり、新たなコミュニティづくりなどにも取り組み、延べ1万7千件あまりの支援活動を行ってきました。

現在、保健師や看護師、精神保健福祉士、NPO団体、市民ボラ



ンティアなど、多くの関係機関と連携して、センターの活動に取り組んでいます。

今年度は、災害公営住宅や民間賃貸住宅などへのスムーズな入居や生活再建に向けて、きめ細かな寄り添い型の対応を進めています。

お困り事がありましたら、お気軽にご相談ください。

【問い合わせ先】

大洲市社会福祉協議会内

大洲市地域支え合いセンター

☎ 0313

災害公営住宅の整備



災害公営住宅(森団地)完成予想図

被災に

より応急

仮設住宅

などで仮

住まいを

余儀なく

されてい

る方々が

安定した

住生活を

取り戻す

ため、安

全で安心

できる良好な居住空間を備えた「災害公営住宅」の整備を進めています。

これまで、アンケート意向調査や相談会などを開催し災害公営住宅への入居希望者の把握に努め、大洲市災害公営住宅基本計画を策定しました。市木(森団地)に14戸、徳森(平団地)に26戸、脇川町山鳥坂(下鹿野川団地)に10戸の計50戸を整備していきます。被災された方々の1人ひとりの暮らしの再生のため、1日も早く災害公営住宅に入居できるよう建設工事を進めています。

地域コミュニティ活動支援状況

【地域コミュニティ等

復興支援事業補助金】

地域コミュニティ団体に対して、被災した祭り用備品や防災備品の購入、設備の復旧費用に対して補助金を交付しました。

本制度の活用により、地域活性化に向けた活動の早期再開が可能となり、地域コミュニティの維持に繋げることができました。



【村島地区地方祭の様子】

【村島獅子保存会】

私たちの活動する村島地区(菅田町菅田)は、平成16年以降4度の水害に遭いましたが、ほとんどの住民は地区から離れることなく生活しています。

一昨年の大洪水では地区全体が壊滅、当保存会の備品も流失し、存続の危機を迎えていました。自治会の協力、大洲市の支援をいただき、昨年度より活動を再開することができました。

会員それぞれの家庭も復旧の中でしたが、少しでもみなさまの力や希望になりたいと思います。地区一円、福祉・商業施設、そして仮設住宅を訪問、また地元ふるさと文化祭や大洲まつりでも演舞し、たくさん笑顔や歓声に包まれました。

ご支援いただいた全てのみなさまに心からお礼申し上げます。今後も伝統芸能の伝承および地域コミュニティ活性化の一助となるよう活動していきたいと思えます。

「がんばろう！大洲」
(代表・矢野 公一さん)

大洲復興冬花火大会

市民の復興への機運を高めるため、平成31年1月11日(金)午後7時から「がんばろう！大洲」大洲復興冬花火大会」が開催されました。

多くのみなさんが澄んだ空に上がる花火に復興への思いを新たにするとともに、夏と違った趣きを楽しんでいただきました。

